

教員養成の目標とその計画

建学の精神である「隣人愛」に基づく共生の精神を土台として、学問の探求の基盤となる教養と知識、技術を習得し、地域社会に貢献できる教師を育成している。

4 学部 8 学科専攻^(注) から成る大学では、幼稚園、小学校、中学校英語、高等学校英語、中学校社会、高等学校公民、高等学校地歴、高等学校福祉、中学校家庭、高等学校家庭、栄養、養護の各一種免許取得課程を擁し、3 研究科から成る大学院では、中学校英語、高等学校英語、中学校家庭、高等学校家庭、栄養、養護の各専修免許取得課程を擁している。共通して「強い情熱」「確かな力量」「総合的な人間力」のある教師を育てるべく、教育課程を編成している。

「強い情熱」をもった教師の育成：「キリスト教の精神と文化」「キリスト教教育論」「労作体験」等、建学の精神であり学位授与方針にも謳われた「隣人愛」に基づく共生の精神を、教職課程における学びの根底に据えた。正課外活動（学校ボランティア等）では、1 年次より地域の学校でボランティアとして児童生徒と学校生活を共にする体制を整え、正課活動と正課外活動の両輪による動機づけを強化している。教職に就くことを強く志望する学生には、低学年次よりキャリア支援センター・教員採用試験対策室にて相談、指導を受ける機会を設けている。

「確かな力量」をもった教師の育成：示範授業、模擬授業、マイクロティーチング等の正課活動から学位授与方針に謳われた「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を高め、実践的な指導力を育成する。学校ボランティア、幼児・児童・生徒に対する読み聞かせや人形劇等を行なうサークル活動、家庭教師・学習塾アルバイト等の「実体験型正課外活動」を支援し、その充実を図っている。現場経験を有する教員の積極的採用、FDプログラムの充実等により「理論と実践の整合性」を研磨している。また「強い情熱」は「確かな力量」を身につけ発揮する時はじめて具現し証明されうることを、教職員と履修者の双方が深く認識しながら追究している。

「総合的な人間力」をもった教師の育成：入学時から、人生をより豊かに潤す幅広い教養、国際的感性、学際的力を培う科目群を擁した全学教養課程を充実させ、学位授与方針に謳われた「公正性」「学修に主体的に取り組む態度」を育成している。教職課程の履修と並行して、全学教養課程において、教師を目指す学生のみならず、様々な夢を持って入学した学生たちが交流し、相互理解を深めながら、幅広く人間を理解するための基礎的な力を培っている。さらに教育における専門的知見・技能を培う専門科目群と、正課外活動をもって「広く深い体験」に裏打ちされた総合的な人間力（全人性）を陶冶する。

注：経営学部経営学科の教職課程は 2022 年度をもって返上し、同学科の 2023 年度以降に入学した学生の教職課程は廃止となりました。